



平成21年4月。クリーンパートナーに登録した直後に花壇を再整備。

土が流れないように、見た目のアクセントとして瓦を並べて花壇としてのメリハリをつけました。



活動紹介

おさのガーデンクラブ

今年度は「ピカまある」の取材ができず、大変ご迷惑をおかけしてしまいましたが、川合町で活躍する『おさのガーデンクラブ』をご紹介します。

お世話をされている花壇は、JR美濃川合駅の南側にあり、乗客の目を楽しませています。じつはこの花壇、会員のみなさんが手作りされました。今回は、この作成の様をお伝えします。



←みなさん楽しんで作業をされています。



↑JR美濃川合駅に止まる車輛

平成20年7月。日差しの照りつける中、線路沿いの細長く、雑草と雑木で荒れた公共の土地がなんとかならないかと、力を合わせて開墾しました。→



鉄道は旅人の足。駅はまちの顔。「おさのガーデンクラブ」のみなさん。これからも美濃川合駅にとまる人びとの目を楽しませてくださいきれいな花をよろしくお願いします。



←↑雑木を切倒し、草木を撤去し集め、花壇の土として使える土を調達して入れました。



↑まだクリーンパートナーに登録される前の様子



←後ろに見えるのは、木曽川と飛騨川の合流点にある、今渡ダム。景色がとてもいいところですよ。

「おさのガーデンクラブ」は川合西3号自治会1班の有志ではじまり、現在22名の会員で活動しています。花壇づくりを通じて交流しながら、お互いの絆を深めています。『おさの』とは、会員らが幼いころ、付近の木曽川の川べりに、清水が出るところがあり、その場所のことを通称「おさの」と呼んでいたことに由来します。これからも地域の絆を大切にしながら、活動していきたいと思っています。



リーダー 大畑隆夫さん

→おさのガーデンクラブはこれからも、地域のみなさんや鉄道を利用されるみなさんを楽しませられるような花壇をつくっていかうと思います。

